

2013 年度点検・評価シート

I 評価項目・担当部局

対象部局	文学部
評価基準 4	教育内容・方法・成果
中項目 4-4	成果
点検・評価項目(1)	4-4-1 教育目標に沿った成果が上がっているか。
評価の視点	学生の学習成果を測定するための評価指標の開発とその適用
点検・評価項目(2)	4-4-2 学位授与（卒業・修了認定）は適切に行われているか。
評価の視点	学位授与基準、学位授与手続きの適切性

II 【点検・評価項目ごとの現状説明】

4-4-1	教育学科を除く全学科において、3年次進級要件が定められている。 入試経路別成績追跡調査については、学科によっては過去数年、継続して実施してきたところもあるが、近年は、押しなべて学力の低下が目立つため、この追跡調査の意味も薄れてきているとの厳しい意見もある。進級率の数字の低下も見られるとの意見もあり、更なる実態の解明を要する。
4-4-2	学科ごとに卒業要件の単位数が定められている。学位授与は基準に沿って学部教授会において判定し、適切に行われている。

【効果が上がっている事項】

4-4-1	教育学科以外の4学科においては、3年次進級規定が設けられているため、学生自身努力しようとする傾向はあるように見える。
4-4-2	

【改善すべき事項】

4-4-1	大学全体のレベルアップ、イメージアップ。それによって、学力の進展が望まれる学生の入学率を増やす。一学部のみで行える問題ではなく、全学的に取り組む必要がある。個人面談の回数を重ねる等の、きめ細かな学生対応を行う。
4-4-2	

III 本項目の根拠資料（データ類、裏付けとなる資料）

卒業生アンケート 授業評価アンケート結果分析等

【2014年度からの達成目標】

【達成目標】 目標の進捗状況は、「S：完全に達成」「A：概ね達成」「B：やや不十分」「C：不十分」で、評価する。

達成目標		目標達成の指標となるもの	評価					
			2014	2015	2016	2017	2018	
中期目標 (2014～ 2018)	本学に入学する学生層の実態を教員が把握し、問題意識を共有すると共に、レベルアップしていくための方策について協議する必要がある。	進級率の数年間の数字。「基礎演習」担当教員の意見等。協議し、その結果を教授会で報告する。	→					
14年度 目標	「基礎演習」担当教員の意見を集約し、対応について検討する。	1年生個々の取得単位数について、検証し、問題のある学生について面談する。	→					
	現状テキスト、指導方法、教育成果等についての意見を・・・		→					